

放射線被曝者医療国際協力推進協議会（HICARE）と 国際原子力機関（IAEA）協働による国際医療研修の 実施について

1 要旨・目的

(1) 要旨

HICARE は、IAEA と連携し、広島がん高精度放射線治療センター（HIPRAC）を活用して、アジア太平洋地域の医療関係者を対象とした先進的放射線治療に関する国際医療研修を実施する。

(2) 目的

放射線腫瘍医及び医学物理士が、高度放射線治療技術に関する知識を深め、臨床への応用を総合的に理解し、高度放射線治療を安全かつ効果的に実施する技術を習得する。

2 現状・背景

HICARE は、平成 26 年に IAEA 協働センターに指定され、以降、IAEA と協働して国際医療研修を実施している。（令和 2，3 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止）

3 概要

(1) 対象者

アジア太平洋地域 7 か国の放射線腫瘍医及び医学物理士（計 17 人）
マレーシア（2 人）、モンゴル（4 人）、パキスタン（2 人）、フィリピン（2 人）、
韓国（3 人）、タイ（2 人）、ベトナム（2 人）

(2) 事業内容

ア 名称

IAEA・HICARE 国際医療研修「頭頸部、肺、肝臓がんに対する先進的放射線治療」

イ 内容

画像診断技術・コンピュータ技術や機械工学の進歩に基づく最先端の放射線治療の知識と技術の習得、高精度放射線治療計画装置等の操作実習、日本放射線腫瘍学会学術大会出席、広島平和記念資料館見学、被爆体験講話聴講

ウ 会場

広島がん高精度放射線治療センター（HIPRAC）、リーガロイヤルホテル広島、広島平和資料記念館

エ 監修者

永田 靖（広島大学大学院医系科学研究科教授、広島がん高精度放射線治療センター長）

オ 講師

メイ・アブデル・ワハブ IAEA ヒューマンヘルス部長、HIPRAC 5 人、広島大学 8 人、放射線影響研究所 1 人

(3) スケジュール（研修期間）

令和 4 年 11 月 11 日（金）～11 月 15 日（火）

(4) 予算（単県）

1,329 千円 ※広島市が同額負担、IAEA が経費の一部を負担